

成城の風



発行者 青少年成城地区委員会会長 辻紀子 / 事務局 成城まちづくりセンター 3482-1348

子どもたちとともに地域に生きる

約40名の大人たちが集まって、子どもたちが地域で健やかに成長できるように様々な事業を行っているのが私たちの委員会です。赤いエプロンは私たちの目印。子どもたちの笑顔や明るい挨拶が私たちの活動の原動力です。

Seijo Let's

私たちの委員会には、地域の団体や住民、学校 PTA 等の大人たちが中高生の皆さんと、地域のイベントやボランティア活動に参加したり、自分たちの楽しめそうなことややってみたいことを考えていく「Seijo Let's」というサークルがあります。

平成29年度は、このような活動をしました！

●Let's会

- 活動内容
 - ・みんなでクッキング
ホットケーキ作り（新メンバーへのおもてなし）
 - ・ゲーム大会
カードゲーム、百人一首
 - ・避難所カフェ看板作り



●小学生対象のイベントでのお手伝い

「素まっぷ隊」、「野外活動」、「千歳っ子まつり手作りコーナー」

●地域のボランティア

- 8/28 成城地区の子育て中のお母さんと保育体験
(2~5歳の子どもと遊んだり、赤ちゃんをだっこしたり)
- 10/7 成城1・2丁目防災ふれあいDAY 避難所カフェ
- 1/27 千歳小防災DAY 避難所カフェ



今年度初企画の「避難所カフェ」。砧中学校と千歳小学校の避難所訓練の参加は大好評でした！
「Seijo Let's」の活動は、部活や習い事のない時だけの参加でも大丈夫です。

◆ 次年度の募集は2018年5月です！（4月以降の活動については随時お知らせします）

その前に、ちょっと体験してみたい皆さん！新中学生の皆さん！

3月26日（月）10:00~12:00 砧総合支所（成城ホール）

2階の活動フロアにてスタッフ会をやっています。

ぜひ来てくださいね！



問い合わせ先：青少年成城地区委員会

事務局：成城まちづくりセンター

TEL 3482-1348

SEA01051@mb.city.setagaya.tokyo.jp ↑



わからないこと、聞きたいことがあったらお気軽にお問い合わせください。 ※この原稿は3月1日に作成されています

素まっぶ隊

●子どもたちのセンス・オブ・ワンダーに驚く●



2017年度の素まっぶ隊のテーマは、「みんなでさがそう成城の珍しさ!」。さあ、何があるかな? みんな眼を皿にして街を歩いてみました。ある、ある、珍しいものいろいろ。

商店街にはすいすい飛んでるツバメの巣、角の銀行には上がっても壁しかない謎の階段。

駅から続く野菜畑にはぶどうやカボチャ、ザクロも見つけた。美味しそう。不動坂を下るとニワトリ小屋発見。見上げるとバナナの木に房が。黄色いレモンを横に見て、どんぐりがころころしている山道を上がると、今度は、くるみの木に大きな実が。すぐ横の、土の道の入口の古い桜には、まさに座れるような大きなサルノコシカケ。小学校の裏まで歩いていくと、な、なんと、こんどは鉄のフェンスを食べてる桜の木、いたずらなお化けみたい。

みんな、たくさん見つけました。支所に帰って白地図に描き、みんなが眼を丸くして発表会をしました。

環境で有名なレイチェルカーソンは、子どもには生まれながらに、驚き、感じる能力「センス・オブ・ワンダー」が豊かに備わっているといいますが、まさにその通りの珍しいもの探しでした。(石神)

野外活動

●自然たんけん隊、今年は木の実にこだわる●

今年の“集まれ!自然たんけん隊!!”は木の実にこだわってみました。まず、祖師谷公園の中の「実のなる木」を探してみました。真夏の7月22日とあって実際に実がなっている木を見つけるのは難しかったですが、ヤマボウシやヒメリンゴには実のなる気配がありましたよ。栗や椎は秋には絶対実がなっています。忘れずに確かめに行ってね!

後半は木の実のパチンコ・ぶんぶんコマ作り・俳句・竹遊びのコーナーにプラス“くだもののタネを植えて家で育ててみよう”と小さな植木鉢に持ち寄ったタネ(レモン・グレープフルーツ・ドラゴンフルーツ・サクランボなど)を植えました。夏休み中にちゃんとお水をあげて愛情を注ぐと芽が出るはず!「本当に芽が出るかなあ」と子どもたちはワクワクドキドキした様子で持ち帰りました。

さて、秋に「芽が出たよ」との報告、ちゃんとありました(ホッ!) (徳岡)





もぎ店



毎年恒例地域の一大イベント「せいじょう地域文化祭」。お客様が最初に目にするのは会場の前庭に出店しているもぎ店です。今年も地区委員をはじめとし、中学生スタッフ、PTAの皆さんが奮闘してくださって大成功に終わりました。

定番のフランクフルト、わたあめに加え、中学生企画メニューは「チーズまる」（チーズ&ソーセージ入りのたこ焼き風）、おしるこ、コーンクリームスープに決まりました。初めての顔合わせでは緊張気味の中学生たちも、試食会をしたり、当日スケジュールを決めたり、前日準備をする中で段々と、自分たちがやるんだ、という意識が芽生え、当日は寒空のテントの中で一生懸命にもぎ店を盛り上げてくれました。そしてなくてはならない存在のPTAの皆さんもお忙しい中、中学生たちの作業を見守り、サポートしていただきました。中学生たちも心強かったと思います。

来場者の喜ぶ顔と多くの人との出会いが嬉しいお祭りがこの「せいじょう地域文化祭」なんだと改めて実感しました。（井上）

キッズコーナー



装飾のテーマは「美女と野獣」でした。キッズコーナーのある4階も廊下や各部屋を、会場係さんが用意してくれた装飾品で飾り付けをしました。

文化祭前に、主に砧中と千歳中から応募してくれた学生スタッフのみんなと、今年はどんなコーナーを作るかを話し合うのですが、そこで、「テーマが美女と野獣なので、バラを作りたい」と意見が出ました。これなら小さなお子さんにも作れるだろうというものを調べてきてくれて、色画用紙でバラを作るコーナーができあがりしました。

当日は、たくさんのお客さんが、出来上がったバラを持って、嬉しそうにされている様子が見られて、スタッフのみんなも嬉しそうでした。

他にも、紙ヒコーキを作って飛ばすコーナー、輪投げ、ビーズアクセサリー作りと、キッズコーナーは盛りだくさんの内容で、お客さんも大勢来てくださって大成功でした。



手伝ってくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！（林）

ステージ

●みんなが輝くお手伝いを●

予鈴のブザーが鳴り、会場に司会者の声が響きます。「まもなく、せいじょう地域文化祭 ステージ発表が始まります！」

舞台裏手で、音響ブースで、照明機材の前で、それぞれが緊張とワクワクの入り混じった気持ちで本番を迎えます。18名の中高生、普段とは違う特別な一日の始まりです。

今年で18回を迎えるせいじょう地域文化祭の目玉イベントの一つ、ステージ発表。その裏方は、地域に住む中高生たち。地区委員の大人たちとともに、成城ホールの舞台を知り尽くしたプロの方の力を借りて、出演する18組のステージを共に作り上げていきます。

中高生スタッフは、出演者のステージにあわせ、舞台の設営、紹介コメントのアナウンス、音楽・照明のコントロールを行います。今年も大勢の力を結集し、無事にステージ発表を終えることができました。

裏方としての仕事を務めあげた子どもたちはとてもたくましく、その瞳には充実感が垣間見えました。みんなが輝くために自分に何ができるか、真剣に考え、主体的に行動することができた一日でした。みんなありがとう！（辻（真））



舞台上手で本番を見守る中学生スタッフ

会場

今年の会場装飾はいつもとは少し趣向を変えて「美女と野獣」をテーマに、野獣が苦悩しながらこもる少し怖いお城のイメージ。黒や紺の薄布を使って雰囲気盛り上げ、廊下の真ん中には赤いバラを配置しました。

そして、会場のいたるところに現れる、衣装、メイク共に完璧な(?)美女と野獣と執事に扮した各委員がさらに一層雰囲気を盛り上げます。

前日の装飾準備では、中学生スタッフのみなさんが、野獣が爪で引き千切ったような感じを出すために薄布に大胆にハサミを入れる姿が印象的でした。簡単にイメージを伝えるだけで意向を汲んで行動できる柔軟な思考と発想には毎回驚かされます。

受動から能動へ。スタッフの意欲が年々増していくのが感じられる文化祭でした。(津浦)



インターネットの安心安全な使い方

2000年代にインターネットへの接続サービスが普及し、2008年にはiPhoneが登場するなど、皆さんはまさにインターネット社会に生まれ育ちました。スマホ、パソコン、ゲーム機と皆さんの周りにはインターネットがあふれています。娯楽や学習、コミュニケーション手段として、今や日常生活でもインターネットなしの生活は考えられないほどではないでしょうか。私たちはその恩恵に浴す一方、誤った使い方や不注意によって、小さなトラブルから恐ろしい事件まで、残念ながらたくさん起こっています。

インターネットの知識や利用に関しては、皆さんは私たち大人より進んでいると言えるでしょう。けれど、インターネットはあくまで手段であり、道具です。使い手である私たちの理性や判断力といったものが常に問われることなのです。インターネットの圧倒的な利便性、速さ、広がりを見ると、その使い方や影響力に気を付けなければ、それらを逆手に取られるようなことも起きてしまうのです。それはインターネットを利用するすべての人に言えることです。

今回、地区委員会の研修で私たちが学んだ一部を、ここで皆さんにもお伝えしたいと思います。
(永田)

2017年度 青少年成城地区委員会研修会より (2018/2/13)

『インターネットの安心安全な使い方』

～子どもたちをネットの被害者にも加害者にもさせないために～

講師：e ネットキャラバン / ソフトバンク株式会社 中山健二氏

ゲーム、チャット、YouTubeが
やめられない

時間制限、フィルタリング
家族のルール
必要だね

ラインでトラブル 落ち込む

トラブルはこじれる前に相談
面と向かって
話し合おう

“そのゲーム無料じゃないよ、
そのゲーム”

ネットの友達他真的
友達？

架空詐欺やチェーンメールは
無視！
不確かな情報に惑わされない

公開したくない情報
は出さない

悪意ある第三者
が見ている

“知らぬ間に知らない
人が知っている”

現実でやっていけないことは
ネットでも同じ

相談窓口、リーフレット、参考資料はこちらに掲載されています→



●平成29年度 青少年成城地区委員会 活動内容一覧●

- 5月10日 総会 第一回地区委員会 青少年成城地区委員会スタート
 5月27日 Seijo Let's 新規メンバー歓迎会（ホットケーキでおもてなし）
 6月8日 第一回委員研修「成城地区委員同士がお近づきになりましょう！」
 アイスブレイクゲーム『三角で集まれ』
 第二回地区委員会
 6月24日 素まっふ隊・子どもワークショップ
 参加人数：子ども 25名（明正小11名、千歳小14名） 付き添い：29名
 スタッフ：21名（学生スタッフ、サポーター、講師、地区委員他）
 7月11日 第二回委員研修「地区委員会とは？『青少年地区委員の手引き』を使って」
 第三回地区委員会
 7月22日 野外活動「集まれ！自然たんけん隊！！」
 参加人数：子ども 43名（千歳小35名、明正小7名、塚戸小1名）保護者
 スタッフ：41名（学生スタッフ、千歳小おやじの会、SNECS、若葉会、地区委員他）
 7月26日 Seijo Let's ゲーム大会
 8月23日 Seijo Let's カフェ看板作り
 8月28日 Seijo Let's 保育体験
 9月13日 ミニ研修『『こどもとまち』について』
 講師：成城自治会常任理事 環境部長 石神 隆 氏
 第四回地区委員会
 10月7日 Seijo Let's 成城1・2丁目防災ふれあいDAY 避難所カフェ
 10月12日 第五回地区委員会
 11月14日 第六回地区委員会
 12月3日 せいじょう地域文化祭：ステージ発表、もぎ店、キッズコーナー他
 来場者数：3200人 学生スタッフ：77名 大人スタッフ：159名
 1月17日 第七回地区委員会
 1月27日 Seijo Let's 千歳小防災DAY 避難所カフェ
 2月13日 第三回委員研修「インターネットの安心安全な使い方」
 ～子どもたちをネットの被害者にも加害者にもさせない～
 講師：e-ネットキャラバン 中山 健二 氏（ソフトバンク(株)）
 3月15日 平成29年度を振り返って
 ＊その他各部会ごとのミーティング、事前準備など

共催事業

- 7月9日 さくら児童館ちいきこどもまつり（ひもくじコーナー開設）
 9月30日 千歳っ子まつり（割り箸鉄砲、芳香剤作りお手伝い）
 10月21日 明正小まつり（無料わかめスープコーナー開設）

成城さくら児童館

ちいきこどもまつり

7月9日



千歳っ子まつり

9月30日



明正小まつり

10月21日

